

平成22年9月17日

各 位

会 社 名 株式会社ネットプライスドットコム  
代表者名 代表取締役 兼 グループ CEO 佐藤 輝英  
(コード番号 3328 東証マザーズ)  
問合せ先 常務取締役 兼 グループ CFO 中村 浩二  
電 話 03-5739-3350

## 平成22年9月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年10月28日付け「平成21年9月期 決算短信」にて公表した平成22年9月期 通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 当期の連結業績予想数値の修正（平成21年10月1日～平成22年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 13,000	百万円 230	百万円 230	百万円 100
今回修正予想(B)	12,000	70	20	50
増減額(B-A)	△1,000	△140	△210	△50
増減率(%)	△7.6	△69.5	△91.3	△50.0
(ご参考) 前期実績(平成21年9月期)	13,140	277	275	87

#### 2. 修正の理由

消費環境が依然として厳しい状況が続く中、当社グループの中核事業であるギャザリング事業において、商品単価が低水準のまま推移しておりました。当期は商品力の強化に注力し、商品単価の引き上げを進めて参りましたが、十分な成果をあげることができず、特に7、8月の夏季商戦では、予想以上に苦戦いたしました。その結果、売上高は業績予想を7.6%下回る12,000百万円となる見込みです。

一方、費用につきましては、バリューサイクル事業において、買取り増加に伴う倉庫機能の増床の決定を行うなど、先行投資を実施したことで販管費が増加する見込みです。

その結果、営業利益につきましては、上述のギャザリング事業の減収による影響と販管費の増加により、前回発表予想を69.5%下回る70百万円となる見込みです。

また、持分法適用会社にて保有していた季節性の高い商品に対して評価減を行った結果、持分法投資損失が発生したこと、コマースインキュベーション事業のシステムリプレイス



に伴う減損とベンチャーファンド等の投資有価証券評価損を保守的に見込んでいることから、経常利益につきましては、前回発表予想を91.3%下回る20百万円となる見通しです。

なお、当期純利益につきましては、一部有価証券の売却による特別利益の計上を見込んでおりますが、前回発表予想を50.0%下回る50百万円となる見込みです。

以上

ご注意：本資料に記載されている業績予想は、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。